

# 小さなまちの大きな挑戦、再び。



平成27年以来、2度目となる野外音楽祭、OGF GREEN FESTIVAL 2nd（以下、OGF）。今回は「親子3世代で音・食・遊びを楽しめる音楽フェス」を目標に、OGF実行委員会（代表・松崎真也実行委員長）が主催し、ファミリースポーツセンター特設ステージで、7月1日に開催されました。雨天の中、関係者を含めた入場者約4,100人が、音楽や各種イベントを楽しむ1日を過ごしました。

## 音楽の森、観る楽しさ

OGF当日の朝9時、山神太鼓愛好会の勇壮な太鼓の響きと共に、メインステージがオープン。ぽつぽつと降り出した雨の中、レインコートなどの雨具を身に付けた観客が最前列を確保。OGFオフィシャルグッズを買い求める観客も長い列をつくりました。

11時からROTTENGRAFFTYの登場で、ライブがスタート。メインステージは大きな歓声に包まれました。終日、しとしとと降る雨にも負けず、観客は6組のアーティストのライブに胸を熱くしました。会場では、小さな子どもたちも手を振り、ジャンプしながら音楽を全身で楽しんでいました。最前列の若い女性は、瞳を潤ませながら歌に聴き入り、後ろのテントの中では、地元のお年寄りが、じっとスポットライトに照らされたステージを見つめていました。それぞれの世代が異なるジャンルの音楽を共有し、それぞ